

郵政民営化委員会（第254回）議事要旨

日 時：令和4年11月29日（火）13:30～14:36

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員
（敬称略）

日本郵政株式会社 浅井常務執行役、風祭執行役経営企画部長

日本郵便株式会社 田中執行役員、目黒執行役員経営企画部長

株式会社ゆうちょ銀行 當麻執行役、今井財務部長

株式会社かんぽ生命保険 宮澤常務執行役、五十嵐運用企画部担当部長

1. 議事

- ・日本郵政グループの2023年3月期第2四半期等決算等について

2. 委員会での説明・意見等

① 資料に基づき、日本郵政グループより説明。【資料254-1～5】

② 委員からの意見等

- ・郵便・物流事業は、巣籠もり需要で全体のパイが広がる中、ゆうパックが若干苦戦しており、長期的に経営に対してボディーブローとして効いてくるのではないかと。また、郵便局窓口事業は、金融関係手数料の収益が大きな柱だが、その収益も下がり続けており、本業が縮小し続けているのは厳しいという見方もあるのではないかと。

（⇒（日本郵便）ゆうパックの減少については、巣籠もり需要による増加の反動も影響しているが、同業他社との競争や通販事業者による自社配送の動きなどの厳しい競争環境によるものと認識している。これについては、現在進めている他事業者との提携に引き続き取り組んでいきたい。また、金融関係手数料収益の減少についても、様々な要因が影響しているが、厳しい状況にあると認識している。）

- ・地球温暖化・CO₂削減・再生可能エネルギー等にはどのように向き合っているのか。大型の資産を保有しているゆうちょ銀行とかんぽ生命等は、ESG投資に積極的に取り組むべきではないかと。郵政グループ全体でどのような取り組みをしているのか説明してほしい。

（⇒（日本郵政グループ各社）温室効果ガスの削減について、グループ全体で2019年度比で2030年度に46%減と非常に高い目標を掲げている。また、例えば、ESG投資での金額を具体化したKPI化や各種投資ツールによる推進、年賀はがきの寄付金配分、輸送や配送部分のEV化等、環境問題に対して意識して取り組んでいる。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。